

公益財団法人 九州運輸振興センター

I 法人の概要 (令和2年4月1日現在)

- 所在地 福岡市博多区博多駅東三丁目10番17号
- 設立年月日 昭和56年2月21日
- 代表者 会長 竹島 和幸
- 基本財産 25,170千円
- 北九州市の出捐金 500千円 (出捐の割合 2.0%)
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	13人	0人	0人	13人
常 勤	1人	0人	0人	1人
非常勤	12人	0人	0人	12人
職 員	3人	0人	0人	3人

II 令和元年度事業実績

1 調査研究事業

事 業 名	事 業 計 画 等
懸賞論文の募集	大学等における交通経済に関する研究を促進するとともに、その研究論文を活用することにより、九州圏における交通運輸・観光事業の発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として懸賞論文を募集した。本年度は4編の応募があり、審査委員会(2020年1月9日開催)で、優秀賞2編を決定した。

2 施設整備事業

事 業 名	事 業 計 画 等
九州圏における海運振興 関連施設整備 (日本財団助成事業)	(1) 離島住民の民生の安定と福祉の向上に資するため、冷凍コンテナ、保冷コンテナ等を製作して旅客定期航路事業者管理委託した。 ① 冷凍コンテナ 10個 (2) 離島住民の福祉の向上のため、風雨防止用通路シェルター、簡易待合所、バリアフリー対応型タラップを製作し、離島航路の岸壁に整備し、旅客定期航路事業者管理委託した。 ① 風雨防止用通路シェルター 7基 ② 簡易待合所 2基 ③ バリアフリー対応型タラップ 3基

3 広報啓発等事業

事業名	事業計画等
(1) 機関誌「九州うんゆジャーナル」の発行	賛助会員その他関係者への情報提供・サービス向上を図るため九州うんゆジャーナルを発行、配布した。(年2回)
(2) 講演会等の開催	<p>(1) 講演会の開催 交通運輸・観光関係業界団体等と連携・共催して交通運輸及び観光の振興と近代化に関する講演会を開催した。(年1回)</p> <p>(2) 九州運輸コロキアムの開催 九州内外から講師を招き、交通運輸・観光全般について情報提供・活発な討議の場を提供するた目に開催予定であったが、新型コロナウイルスの国内感染拡大防止の観点からセミナー、シンポジウムともに中止した。</p> <p>(3) 海事振興セミナーの開催 海事振興を目的として、特に海事に関する最新の情報提供や課題解決等のためのセミナーを開催した。(年1回)</p> <p>(4) 企業経営基盤強化セミナー 関係企業団体と連携し、企業の経営基盤の強化等につながる最新の情報等を提供するため、時宜に応じたテーマ・内容によるセミナーを企画・開催した。(年2回)</p>
(3) 次世代の海事産業を担うことになる小中学生等への啓発活動（海の子育成）	次世代社会を担うこととなる小・中学生を対象に、海事産業現場の見学会を実施することなどにより、海事産業の重要性等の認識や理解促進を図った。(年2回)
(4) 九州の交通・運輸に関する統計の整備	九州圏における交通・運輸に関する統計資料である「九州運輸要覧」を当センターホームページ上で公開した。(監修：九州運輸局)
(5) バリアフリー啓発促進	バリアフリー社会実現のカギを握る船員や事務職員などの運航関係者を対象に、フェリー船内やターミナルを活用した、車椅子・視覚障害・高齢者などの議事体験を呼びサポート体験をしてもらうことにより、離島航路におけるソフト面の一層のバリアフリー化を進めるために実施した。(年1回)

Ⅲ 令和元年度決算

1 貸借対照表

令和2年3月31日現在（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減 額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	2,823,368	1,167,207	1,656,161
郵便振替	1,123,954	38,586	1,085,368
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
前払金	626	1,094	▲468
未収金	110,000	140,000	▲30,000
流動資産計	6,057,948	3,346,887	2,711,061
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	25,170,000	25,170,000	0
基本財産計	25,170,000	25,170,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	12,772,000	12,048,800	723,200
冷凍・保冷コンテナ	135,287,576	147,905,615	▲12,618,039
通路シェルター	55,298,815	46,015,703	9,283,112
浮棧橋	17,016,678	21,368,405	▲4,351,727
特定資産計	220,375,069	227,338,523	▲6,963,454
(3) その他の固定資産			
什器備品	342,369	348,417	▲6,048
敷金	422,655	422,655	0
電話加入権	160,600	160,600	0
その他の固定資産計	925,624	931,672	▲6,048
固定資産計	246,470,693	253,440,195	▲6,969,502
資産合計	252,528,641	256,787,082	▲4,258,441
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	521,748	1,310,713	▲788,965
預り金	1,205,860	216,006	989,854
流動負債計	1,727,608	1,526,719	200,889
2 固定負債			
退職給付引当金	12,772,000	12,048,800	723,200
固定負債計	12,772,000	12,048,800	723,200
負債合計	14,499,608	13,575,519	924,089
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産計	228,153,069	235,839,723	▲7,686,654
（うち基本財産への充当額）	(20,550,000)	(20,550,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(207,603,069)	(215,289,723)	(▲7,686,654)
2 一般正味財産			
一般正味財産計	9,875,964	7,371,840	2,504,124
（うち基本財産への充当額）	(4,620,000)	(4,620,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	238,029,033	243,211,563	▲5,182,530
負債及び正味財産合計	252,528,641	256,787,082	▲4,258,441

2 正味財産増減計算書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減 額
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,521	2,517	4
② 受取会費			
賛助会員受取会費	10,883,500	11,033,500	▲150,000
③ 受取助成金等			
受取日本財団事業助成金 (施設整備)振替額	70,679,034	67,030,756	3,648,278
受取日本財団基盤整備助成金	20,770,000	20,260,000	510,000
④ 受取負担金			
受取施設整備事業負担金振替額	7,562,467	7,290,927	271,540
⑤ 事業収益			
機関誌広告収益	60,000	90,000	▲30,000
⑥ 雑収益			
受取利息	540	537	3
経常収益計	109,958,062	105,708,237	4,249,825
(2) 経常費用			
① 事業費			
調査研究事業費	579,134	667,411	▲88,277
施設整備事業費	193,338	163,581	29,757
広報啓発等事業費	3,034,695	4,837,524	▲1,802,829
機関誌作成費	1,766,961	2,781,757	▲1,014,796
講演会事業費	210,713	396,576	▲185,863
九州運輸コロキアム事業費	273,984	893,837	▲619,853
海事振興セミナー費	375,284	161,936	213,348
企業経営基盤強化等セミナー費	27,271	65,247	▲37,976
海の子育成事業費	193,092	315,106	▲122,014
交通運輸統計整備費	4,320	4,323	▲3
バリアフリー啓発促進事業費	183,070	218,742	▲35,672
事業管理費	19,005,845	19,605,036	▲599,191
給与費支出	13,239,382	13,633,270	▲393,888
役員給与費	5,436,600	5,433,296	3,304
職員給与費	7,802,782	8,199,974	▲397,192
福利厚生費	2,421,938	2,557,573	▲135,635
事務費	3,344,525	3,414,193	▲69,668
通信運搬費	248,933	246,685	2,248
消耗品費	39,028	47,261	▲8,233
印刷製本費	0	95,353	▲95,353
水道光熱費	120,070	157,583	▲37,513
賃借料	2,258,565	2,228,251	30,314
新聞図書費	144,028	142,770	1,258
交際費	0	0	0
保険料	4,674	4,504	170
租税公課	43,092	34,182	8,910
雑費	486,135	457,604	28,531
退職給付費用	578,560	578,560	0
役員退職給付費用	304,000	304,000	0
職員退職給付費用	274,560	274,560	0
什器備品減価償却額	4,899	4,899	0

冷凍・保冷コンテナ減価償却費	48,760,232	46,049,783	2,710,449
通路シェルター等減価償却費	24,936,206	22,690,344	2,245,862
浮棧橋減価償却費	4,351,725	5,417,975	▲1,066,250
事業費計	101,444,634	100,015,113	1,429,521
② 管理費			
給与費	3,634,098	3,481,420	152,678
役員給与費	1,359,150	1,358,324	826
職員給与費	2,274,948	2,123,096	151,852
福利厚生費	568,110	599,928	▲31,818
旅費交通費	567,075	502,742	64,333
事務費	1,094,232	1,379,527	▲285,295
通信運搬費	58,392	59,269	▲877
消耗品費	101,590	95,923	5,667
印刷製本費	0	22,367	▲22,367
水道光熱費	28,162	36,964	▲8,802
会議費	217,285	492,424	▲275,139
貸借料	529,785	522,675	7,110
新聞図書費	33,784	33,490	294
交際費	0	0	0
保険料	1,096	1,056	40
租税公課	10,108	8,018	2,090
雑費	114,030	107,341	6,689
退職給付費用	144,640	144,640	0
什器備品減価償却額	1,149	1,149	0
管理費計	6,009,304	6,109,406	▲100,102
経常費用計	107,453,938	106,124,519	1,329,419
当期経常増減額	2,504,124	▲416,282	2,920,406
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①受取日本財団事業助成金振替額	6	7	▲1
②受取施設整備事業負担金振替額	5	0	5
経常外収益計	11	7	4
(2) 経常外費用			
固定資産除去損			
冷凍・保冷コンテナ除去損	7	4	3
通路シェルター等除去損	2	3	▲1
浮棧橋除去損	2	0	2
経常外費用計	11	7	4
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,504,124	▲416,282	2,920,406
一般正味財産期首残高	7,371,840	7,788,122	▲416,282
一般正味財産期末残高	9,875,964	7,371,840	2,504,124
II 指定正味財産増減の部			
①受取日本財団事業助成金	64,559,000	59,803,000	4,756,000
②受取日本財団施設整備負担金	5,995,858	6,606,647	▲610,789
③一般正味財産への振替額	▲78,241,512	▲74,321,690	▲3,919,822
当期指定正味財産増減額	▲7,686,654	▲7,912,043	225,389
指定正味財産期首残高	235,839,723	243,751,766	▲7,912,043
指定正味財産期末残高	228,153,069	235,839,723	▲7,686,654
III 正味財産期末残高	238,029,033	243,211,563	▲5,182,530

IV 令和2年度事業計画

1 調査研究事業

事業名	事業計画等
懸賞論文の募集	大学等における交通運輸・観光に関する研究を促進するとともにその研究論文を活用することにより、九州圏における交通運輸・観光事業の発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として、懸賞論文を募集する。(継続事業)

2 施設整備事業

事業名	事業計画等
九州圏における海運振興関連施設整備(日本財団助成事業)	(1) 離島住民の民生の安定と福祉の向上に資するため、冷凍コンテナ、保冷コンテナ等を製作して旅客定期航路事業者に管理委託する。 (2) 離島住民の福祉の向上のため、簡易待合所、バリアフリー対応型タラップを製作し、離島航路の岸壁に整備し、旅客定期航路事業者に管理委託する。

3 広報啓発等事業

事業名	事業計画等
(1) 機関誌「九州うんゆジャーナル」の発行	賛助会員その他関係者への交通運輸・観光等に関する情報提供・サービス向上を図るため九州うんゆジャーナルを発行、配布する。
(2) 各種講演会・セミナー等の開催	交通運輸・観光に関する情報提供、普及啓発等を図るため各種講演会・セミナー等を開催する。 (1) 講演会 交通運輸・観光関係業界団体等と連携・共催して交通運輸及び観光の振興と近代化に関する講演会を企画・開催する。 (2) 九州運輸コロキウム 九州内外から講師を招き、交通運輸・観光全般について情報提供等を行うとともに意見交換・討議の場として開催する。 (3) 海事振興セミナー 海事振興を目的として、特に海事に関する最新の情報提供や課題解決等のためのセミナーを開催する。 (4) 企業経営基盤強化等セミナー 関係業界団体と連携し、企業の経営基盤の強化等につながる最新の情報等を提供するため、時宜に応じたテーマ・内容によるセミナーを企画・開催する。
(3) 次世代の海事産業を担うことになる小中学生等への啓発活動(海の子育成)	九州運輸局に設置されている「九州海事産業次世代人材育成推進協議会」と連携して、次世代社会を担うこととなる小・中学生を対象に、海事産業現場の見学会を実施することなどにより、海事産業の重要性等の認識や理解促進を図る。

(4) 九州の交通・運輸に関する統計の整備	九州圏における交通、運輸に関する統計資料を当センターホームページ上で公開する。(監修：九州運輸局)
(5) バリアフリー啓発促進	<p>離島においては本土以上に高齢化の進展等が著しいにもかかわらず、未だハード及びソフトともに十分なバリアフリー化が進められていないのが現状である。このため、ハード面においては、行政の手の届かない、また、事業者で十分に対応できない部分のバリアフリー化の推進について、当センターが日本財団の助成によるバリアフリー対応型タラップ等を整備するなど、その一助となる活動を展開しているところであるが、ソフト面においても、バリアフリー実現のカギを握る船員や事務職員などの運航関係者、また一般市民(小中学生、乗船客など)を対象に、フェリー船内やターミナルを活用した、車椅子・視覚障害・高齢者などの疑似体験及びサポート体験をしてもらうことにより、離島航路におけるソフト面の一層のバリアフリー化を進めるため実施する。(継続事業)</p>

V 令和2年度予算

1 収支予算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日 (単位:円)

科 目	R2年度予算額	R1年度予算額	増 減 額
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	3,000	3,000	0
基本財産利息収入	3,000	3,000	0
② 会費収入	11,200,000	11,200,000	0
賛助会員会費収入	11,200,000	11,200,000	0
③ 助成金等収入	90,400,000	86,320,000	4,080,000
日本財団助成金収入	90,400,000	86,320,000	4,080,000
施設整備事業助成金収入	69,460,000	65,550,000	3,910,000
基盤整備助成金収入	20,940,000	20,770,000	170,000
④ 負担金収入	3,930,000	6,110,000	▲2,180,000
施設整備事業負担金収入	3,930,000	6,110,000	▲2,180,000
⑤ 広報啓発等事業収入	60,000	60,000	0
機関誌広告収入	60,000	60,000	0
⑥ 雑収入	2,000	2,000	0
受取利息収入	2,000	2,000	0
事業活動収入計	105,595,000	103,695,000	1,900,000
2 事業活動支出			
① 事業費支出	99,684,100	97,354,300	2,329,800
調査研究事業費支出	790,000	740,000	50,000
懸賞論文募集費支出	790,000	740,000	50,000
施設整備事業費支出	73,390,000	71,660,000	1,730,000
広報啓発等事業費支出	5,100,000	4,500,000	600,000
機関誌作成費支出	2,000,000	2,000,000	0
講演会・セミナー等事業費支出	2,600,000	2,100,000	500,000
海の子育成事業費支出	300,000	250,000	50,000
交通運輸統計整備費支出	10,000	10,000	0
バリアフリー啓発促進事業費支出	190,000	140,000	50,000
事業管理費支出	20,404,100	20,454,300	▲50,200
給与費支出	13,721,600	13,788,000	▲66,400
役員給与費支出	5,440,000	5,433,600	6,400
職員給与費支出	8,281,600	8,354,400	▲72,800
福利厚生費支出	2,543,400	2,527,200	16,200
事務費支出	4,139,100	4,139,100	0
通信運搬費支出	324,000	324,000	0
消耗品費支出	202,500	202,500	0
印刷製本費支出	202,500	202,500	0
水道光熱費支出	194,400	194,400	0
賃借料支出	2,284,200	2,284,200	0
新聞図書費支出	145,800	145,800	0
交際費支出	81,000	81,000	0
保険料支出	8,100	8,100	0
租税公課支出	48,600	48,600	0
雑支	648,000	648,000	0
② 管理費支出	6,477,900	6,490,700	▲12,800
給与費支出	3,430,400	3,447,000	▲16,600
役員給与費支出	1,360,000	1,358,400	1,600
職員給与費支出	2,070,400	2,088,600	▲18,200
福利厚生費支出	596,600	592,800	3,800
旅費交通費支出	900,000	900,000	0
事務費支出	1,550,900	1,550,900	0
通信運搬費支出	76,000	76,000	0
消耗品費支出	47,500	47,500	0
印刷製本費支出	47,500	47,500	0
水道光熱費支出	45,600	45,600	0
会議費支出	580,000	580,000	0
賃借料支出	535,800	535,800	0
新聞図書費支出	34,200	34,200	0

交 際 費 支 出	19,000	19,000	0
保 險 料 支 出	1,900	1,900	0
租 税 公 課 支 出	11,400	11,400	0
雑 支 出	152,000	152,000	0
事 業 活 動 支 出 計	106,162,000	103,845,000	2,317,000
事 業 活 動 収 支 差 額	▲567,000	▲150,000	▲417,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
特定資産取得支出	1,103,200	723,200	380,000
退職給付引当資産取得支出	1,103,200	723,200	380,000
投資活動支出計	1,103,200	723,200	380,000
投資活動収支差額	▲1,103,200	▲723,200	▲380,000
III 財務活動収支の部	0	0	0
IV 予備費支出	2,129,800	946,968	1,182,832
当 期 収 支 差 額	▲3,800,000	▲1,820,168	▲1,979,832
前 期 繰 越 収 支 差 額	3,800,000	1,820,168	1,979,832
次 期 繰 越 収 支 差 額	0	0	0

VI 役員名簿

令和2年7月1日現在

役 職 名	氏 名	備 考
理 事：12名		
代表理事(会長)	竹 島 和 幸	西日本鉄道(株)取締役会長
執行理事(副会長)	城 野 隆 行	九州地方倉庫業連合会会長
執行理事(理事長)	竹 永 健 二 郎	九州旅客船協会連合会会長
理 事	関 根 章 好	日本通運(株)執行役員 九州ブロック地域総括兼福岡支店長
理 事	伊 東 純 一	(株)ジェネック代表取締役社長
理 事	大 西 英 二 朗	九州地方港運協会副会長
理 事	深 水 保 廣	九州地方海運組合連合会会長
理 事	椎 葉 邦 男	三菱造船(株)常務取締役
理 事	大 黒 伊 勢 夫	西日本鉄道(株)取締役常任監査等委員
理 事	廣 川 晶 哉	九州旅客鉄道(株)取締役監査等委員
理 事	西 正 博	九州トラック協会専務理事
執行理事(専務理事)	福 山 二 也	(公財)九州運輸振興センター
監 事：1名	迫 田 昌	奄美海運(株)代表取締役社長